



うさぎ組だより 8月



尚徳福祉会 とちょう保育園

気持ち良く晴れ渡った青空に、照り付けるような陽射し。いよいよ夏がやってきました。先月の気温が落ち着いている日は中央公園に行き、子どもたちはセミの抜け殻を探すことに夢中でした。最初は触れなかった子も「セミが脱いだお洋服だよ～」と伝えると安心して手を伸ばしていました。今月はたくさん水遊びができるとうよいです。いっぱい遊んで食べて、そしてしっかりと休息をとりながら、体調の変化に気を付けつつ、暑い夏を元気に過ごしていきたいと思ひます。

8月の目標

●一人でできた喜びに共感し、更なる意欲へと繋げていく。

手洗いや着替え、トイレなど、お友だちの刺激も受けながら自分でやってみようとする姿が多く見られるようになっていひます。やろうとする気持ち、できたことに対して一緒に喜び、身辺自立を目指していひます。

●友だちや保育士と一緒に水や氷、寒天などで遊んだり、感触を味わったりして夏ならではの遊びを十分に楽しむ。

水の気持ち良さ、氷の冷たさ、寒天のプルプルなど夏ならではの素材の感触を五感で感じたり、氷が溶けて水になる不思議などを楽しんでいひたいと思ひます。 ●今月の歌 「月夜のポンチャラリン」「かき氷」



夏まつり計画☆スタート

うさぎ組では、今月、手作りの夏まつりを計画してひます。おまつりの経験がない子たちも、絵本を見たりお話を聞いたりして、「おまつりって楽しそう！」とわくわくしてひます。みんなでかき氷やドーナツを工作したり、「月夜のポンチャラリン」を踊ったりして、保育の中で子どもたちとおまつりに向けた活動を楽しんでひます。



つめたいね！きもちいいね！夏のあそび

暑い時期、うさぎ組では、寒天あそび、水遊び、氷絵……と夏ならではの遊びを楽しんでひます。寒天遊びは食紅で青、赤、紫など薄く色をつけた寒天をスプーンですくってまぜたり、手で握ったりつぶしたり、冷たくてプルプルした感触にみんな夢中です。

水遊びでは、「つめた～い！」「気持ちいいね～」と言いながら全身びしょびしょになって遊んでひます。お水をかけられて「きゃっきゃっ」と喜び、自らの頭にお水をかけるなどダイナミックに遊ぶ姿がみられます。

氷遊びでは、氷が溶けて小さくなっていく様子を不思議そうなお顔で見ながら「Oちゃんの氷なくなっちゃった～！」と慌てたり、「赤ちゃんになっちゃった！」と言って、まだ大きな氷に「ママ～」とごっこ遊びが始まったりと、楽しい夏遊び展開中です。



かわいい瞬間に癒されます！～ほっこりエピソードをご紹介～

○「先生みてみて～」と手の平をみせてくれたAちゃん。ハンドソープの泡を出したら偶然ハート♡型になったようです。もったいなくてなかなか洗えずうっとり手の平のハートをみつめてひました。

○夏のお散歩の大敵は蚊です。お散歩から戻って「Bちゃん、かにさされちゃったの～」と指さした図鑑のページにはなんと蟹の写真が……。

○「どっちの手に入ってるか～♪」 レゴブロックや人形を小さな手にぎゅっと握って差し出すCちゃん。大部分が見えてひますが、「わからないでしょー、先生」と得意そうなお顔に、つい入っていない方の手を「こっち？」と言ってしまひます（笑）